

平成 14 年 1 月 11 日
気 象 庁 予 報 部
観 測 部

配信資料に関する技術情報（気象編）第 99 号

－平成 13 年度末のデータ提供の変更等について－

1. 沖縄 L-ADESS 改良更新に係る配信資料の変更

気象庁では、気象資料伝送網（L-ADESS）の改良更新を順次進めており、昨年度の大阪 L-ADESS の改良更新に引き続き、平成 14 年 3 月 1 日には沖縄 L-ADESS の改良更新を行います。これに際し、沖縄の地方版一般気象データ回線で提供するアメダスデータおよび RSM 数値予報 GPV 等について別紙 1 の変更を行います。

2. 北海道「日高地方」に対する注意報・警報の電文変更について

北海道「日高地方（日高西部、日高中部、日高東部にそれぞれ単独で発表されている場合も含む）」に対する注意報・警報は、平成 14 年 3 月 31 日（日）18 時（中央標準時）から、室蘭地方気象台が行う注意報・警報に含めて行います。

変更時の移行措置として、北海道「日高地方」を対象とした注意報または警報が変更実施時刻（平成 14 年 3 月 31 日 18 時）を過ぎる場合には、浦河測候所において当該注意報または警報を一旦解除し、改めて室蘭地方気象台から注意報・警報を発表します。これに伴う区域名及び区域コードの変更はありません。変更後の電文例を別紙 2 に示します。

3. 地上気象実況報の内容の一部変更について

平成 14 年 3 月 1 日より、地域気象観測業務体制の効率化により、津山、呉、福山、牛深及び名護の地上気象実況報の内容を別紙 3 のとおり変更します。

4. FAX 図（週間アンサンブル予報関連）の変更及び新規配信

週間解説予想図（FEFE19）について、アンサンブル数値予報結果を表示するものとし、名称を「週間アンサンブル予想図」に改めると共に、新しく週間予報支援図（アンサンブル）（FZCX50）の配信を平成 14 年 3 月 20 日（平成 14 年 3 月 19 日 12UTC 初期値）から開始します。これら FAX 図の詳細について別紙 4 に示します。

5. 風及び気温の RSM ガイダンス配信地点の追加

RSM ガイダンスの気温及び風について、別紙 5 に示す地点について平成 14 年 3 月 19 日 00UTC 初期値のガイダンスから追加します。

6. 地方版アメダスデータ（A/N 報）の配信停止

地方版一般気象データ回線で配信しているアメダスデータ（A/N 版）につい

て、これまでの技術情報でお知らせしている通り、沖縄管内を除き平成14年4月24日に配信停止します。停止するA/N報のヘッダーを別紙5に示します。

沖縄 L-ADESS 更新に係る配信資料の変更について

沖縄 L-ADESS の改良更新に伴い、沖縄管内の地方版一般気象データ回線で提供するデータの内、下記の配信資料について変更を行います。

1. アメダスデータ

アメダスデータを A/N 報から BUFR 報に変更します。BUFR 報の配信開始は平成 14 年 3 月 1 日 00UTC 観測値からとし、A/N 報の廃止は BUFR 報の利用の準備等を考慮し平成 15 年 3 月下旬頃とします。

なお、BUFR 報の内容の詳細については、配信資料に関する技術情報（気象編）第 27 号を参照願います。

	新データ (BUFR 報)	現データ (A/N 報)
沖縄地方用	ISYA56 / ISYP56	SYYA56

2. 数値予報 (RSM) GPV

次の通り、要素の追加を行うとともに、配信するデータ種類コードの変更を行う。変更は平成 14 年 3 月 1 日 00UTC 初期値の資料から行うが、データ量の関係上、現資料の並行配信は行わない。

① RSM 上層

データ種類コードを『KUR@ii』から『VUR@ii』に変更し、以下の要素の変更を行う。

- ・ 950hPa 層を追加する（要素は他の層と同様）。
- ・ Ps（海面更正気圧）を RSM 地上に移す。
- ・ ω （上昇流）を全ての層に追加する。
- ・ T-Td（露点差）に代えて Rh（相対湿度）とする。

その他は、全て現行と同じとする。

② RSM 地上

データ種類コードを『KVR@ii』から『VVR@ii』に変更し、以下の要素の変更を行う。

- ・ Ps（海面更正気圧）を RSM 上層から移す。
- ・ T-Td（露点差）に代えて Rh（相対湿度）とする。

その他は、全て現行と同じとする。

3. 降水短時間予報関連プロダクト

次の通り、現行のプロダクトを拡充した新規プロダクトを配信する。平成 14 年 3 月 1 日 00UTC 初期値の資料から新しいプロダクトの配信を開始し、旧形式のプロダクトについては平成 14 年 3 月 27 日に配信を停止します。新形式のデ

ータフォーマット等の詳細については、配信資料に関する技術資料（気象編）第72号を参照してください。

①レーダー・アメダス解析雨量

解析雨量の格子間隔を現在の5kmから2.5kmに詳細化する。

ヘッダー	管理情報電文	運用情報電文
VC@Aii, @=B-D, ii=01-25	VCZZ40	VCYY40

②降水短時間予報値

現在3時間までの降水短時間予報を6時間に延長する。

ヘッダー	管理情報電文	運用情報電文
VC@*ii, @=B-D. *=B-C, ii=01-25	VCZZ41	VCYY41

③レーダーエコー強度・頂高度合成値

対象領域を北東方向に拡大し、電文を単一電文にまとめる。

資料名	ヘッダー	運用情報電文
レーダーエコー強度合成値	VA@A40, @=A-E	VAYY40
レーダーエコー頂高度合成値	VB@A40, @=A-E	VBYY40

北海道「日高地方」の注意報・警報電文の変更後の電文例

電文例 1：日高地方に雷、強風、波浪注意報、胆振地方に雷注意報を発表する場合の電文

<現状>

ヲウイナ 1 ヲカ
121200
2200 14 15 16
平成14年 3月12日12時00分 浦河測候所発表
日高地方「雷，強風，波浪注意報」
《以下略》

ヲウイナ 1 ムラシ
121200
2100 14
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方气象台発表
胆振地方「雷注意報」
《以下略》

<変更後>

ヲウイナ 1 ムラシ
121200
2100 14
2200 14 15 16
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方气象台発表
胆振地方「雷注意報」
日高地方「雷，強風，波浪注意報」
《以下略》

電文例 2：日高地方に雷、強風、波浪注意報、胆振地方に雷注意報を発表していたが、全ての注意報を解除する場合の電文

<変更後>

ヲウイナ 1 ムラシ
121200
2100 00
2200 00
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方气象台発表
胆振地方「雷注意報」解除
日高地方「雷，強風，波浪注意報」解除
《以下略》

電文例3：日高西部、日高中部に乾燥注意報、日高東部に強風、波浪、乾燥注意報、胆振地方に乾燥注意報を発表する場合の電文

<現状>

ヲコイ村1 ヲウカ
121200
2210 21
2220 21
2230 15 16 21
平成14年 3月12日12時00分 浦河測候所発表
日高西部」乾燥注意報」
日高中部」乾燥注意報」
日高東部」強風、波浪、乾燥注意報」
《以下略》

ヲコイ村1 Δ05
121200
2100 21
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方気象台発表
胆振地方」乾燥注意報」
《以下略》

<変更後>

ヲコイ村1 Δ05
121200
2100 21
2210 21
2220 21
2230 15 16 21
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方気象台発表
胆振地方」乾燥注意報」
日高西部」乾燥注意報」
日高中部」乾燥注意報」
日高東部」強風、波浪、乾燥注意報」
《以下略》

電文例4：日高西部、日高中部に乾燥注意報、日高東部に強風、波浪、乾燥注意報、胆振地方に乾燥注意報を発表していたが、日高東部の強風、波浪注意報を除き解除する場合の電文

<変更後>

ヲコイ村1 Δ05
121200
2100 00
2230 15 16
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方気象台発表
胆振地方」乾燥注意報」解除」
日高東部」強風、波浪注意報」
《以下略》

電文例5：日高東部に強風、波浪注意報を発表していたが、全ての注意報を解除する場合の電文

<変更後>

ヲコイ村1 Δ05
121200
2200 00
平成14年 3月12日12時00分 室蘭地方気象台発表
日高東部」強風、波浪注意報」解除」
《以下略》

地上気象実況報の内容の一部変更について

平成14年3月1日より、地域気象観測業務体制の効率化により、津山、呉、福山、牛深及び名護の地上気象実況報の内容を以下のとおり変更します。

電文ヘッダー	SIJP60、SMJP60、SNJP60
対象時刻	09時及び15時（ともに日本標準時）の観測値
変更内容	津山（47756）、呉（47766）、福山（47767）、牛深（47838）及び名護（47940）では、第1節におけるix（観測の型（有人又は自動）などの指示符）で「5」、「6」または「7」を用いる。
変更日時	平成14年3月1日09時（日本標準時）から

参 考 従来から実施している地点

羽幌（47404）、小樽（47411）、広尾（47440）、新庄（47520）、むつ（47576）、白河（47597）、伏木（47606）、諏訪（47620）、秩父（47641）、上野（47649）、伊良湖（47653）、四日市（47684）、日光（47690）、萩（47754）、平戸（47805）、飯塚（47809）、佐世保（47812）、日田（47814）、延岡（47822）、阿久根（47823）、人吉（47824）、都城（47829）、多度津（47890）、宿毛（47897）

週間アンサンブル予報関連 FAX 図の変更等について

1. 配信資料のヘッダーと配信予定時刻

- (1) FZCX50「週間予報支援図 (アンサンブル)」 毎日 05:00 (JST) 頃
 (2) FEF19「週間アンサンブル予想図」 毎日 08:30 (JST) 頃

2. 配信データ内容

(1) FZCX50「週間予報支援図 (アンサンブル)」(サンプル図 1)

- ① : 500hPa 高度と渦度 (センタークラスター平均)、T=72~T=192
 ② : 850hPa 相当温位 (センタークラスター平均)、T=72~T=192
 ③-1 : 500hPa 特定高度線 (クラスター平均)、T=72~T=192
 各クラスター平均の 5400m、5700m、5880m 等値線
 ③-2 : 降水量予想頻度分布 (全メンバー)、T=72~T=192
 格子点毎に、5 mm以上の降水量を予想しているメンバーの割合
 ③-3 : 500hPa スプレッド (全メンバー)、T=72~T=192
 北緯 30° ~60°、東経 110° ~150° の各メンバー間の標準偏差で、
 年々変動の標準偏差で規格化したもの
 ④ : 850hPa 気温偏差 (クラスター平均) 及び予想分布 (全メンバー)、
 T=00~T=192
 実線 : 各クラスター平均、点線 : コントロールラン、波線 : GSM
 縦太線 : 80%のメンバーを含むエラーバー、縦細線 : 全メンバーを
 含むエラーバー

資料①と②は、センタークラスター平均を示す資料。

資料③と④は、アンサンブル資料のばらつきを示す資料。

(2) FEF19「週間アンサンブル予想図」(サンプル図 2)

海面更正気圧と前 24 時間降水量 5 mm以上の範囲 (センタークラスター平均)、T=72~T=192

3. 補足

週間アンサンブル数値予報は、人工的な誤差を与えていない初期値による数値予報 (コントロールラン) と、初期値に異なる誤差を与えた 24 個の数値予報を合わせた、25 メンバーにより構成されています。初期場に人工的な誤差を与えることにより、25 メンバーの数値予報結果は異なったものになり、このメンバー間の分散をスプレッドといいます。スプレッドは初期場の状態により、予想の早い段階から大きくなったり、比較的終わり頃まで小さい状態を続けたりします。

また、この 25 メンバーを予報結果が似ているもの同士を組み合わせさせて 5 つ

のグループに分類し、それぞれのグループをクラスターと呼んでいます。これとは別に、全 25 メンバーによるアンサンブル平均に対しての距離が近い 6 メンバーを選択してセンタークラスターとしています。

週間天気予報では特に断りがなかった場合は、アンサンブル平均はセンタークラスター平均を指します。

RSM ガイダンス（風及び気温）の地点追加について

追加発表地点及びヘッダは以下の通りです。

地点番号	地点名		領域及びデータ種類コード						
			東京	名古屋	広島	高松	福岡	鹿児島	那覇
			KQYY16 KQWW16	KQYY21 KQWW21	KQYY36 KQWW36	KQYY41 KQWW41	KQYY46 KQWW46	KQYY51 KQWW51	KQYY56 KQWW56
44166	羽田	ハネダ	○	○					
81436	宇部	ウベ			○	○	○		
84371	大村	オムラ					○	○	
88166	溝辺	ミゾベ					○	○	○
88851	喜界島	カイジマ					○	○	○
88986	与論島	ヨロジマ					○	○	○

KQYY?? : 気温ガイダンス

KQWW?? : 風ガイダンス

地方版アメダスデータ（A/N 報）の配信停止について

地方版一般気象データ回線で配信しているアメダスデータ（A/N 版）の配信停止について、配信資料に関する技術情報（気象編）第 30 号、第 42 号、第 59 号、第 72 号でお知らせしてきたところですが、沖縄地方用を除き、以下のデータの配信を平成 14 年 4 月 24 日に停止します。

なお、配信資料に関する技術情報（気象編）第 72 号でお知らせしている通り全国版からの配信については、平成 15 年度末を目途に配信停止する計画ですので準備をお願いします。

SYYAii

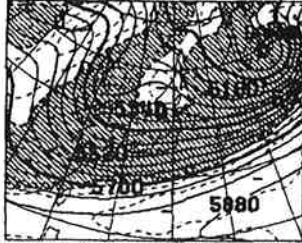
ii= 06（札幌）,11（仙台）,16（東京）,21（名古屋）,26（新潟）,
31（大阪）,36（広島）,41（高松）,46（福岡）,51（鹿児島）

サンプル図 1

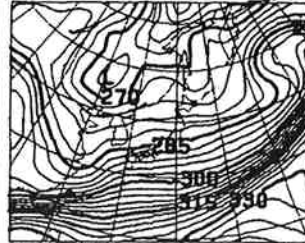
週間予報支援図 (アンサンプル)

2001年12月20日12UTC

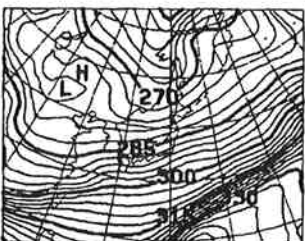
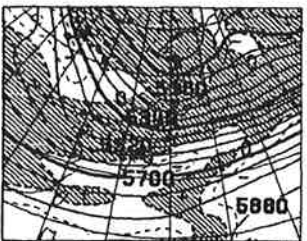
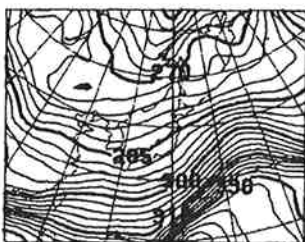
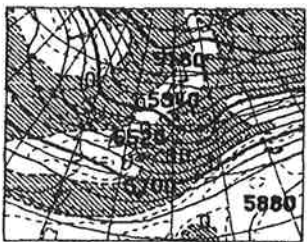
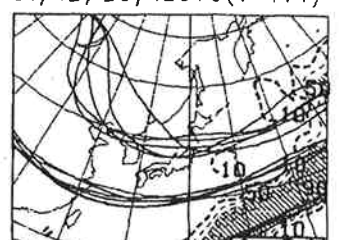
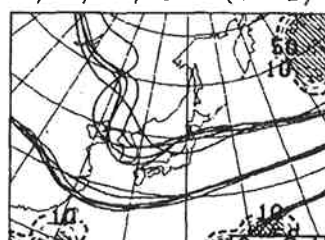
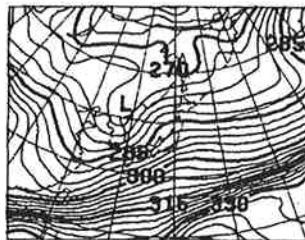
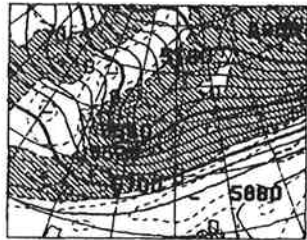
500hPa高度及び温度 ①



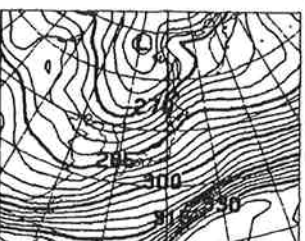
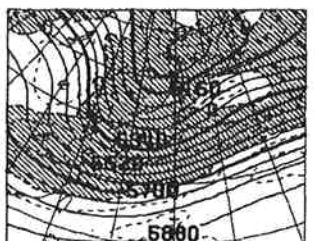
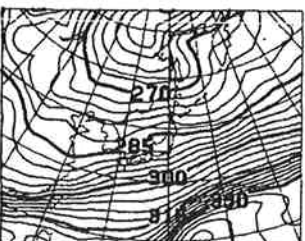
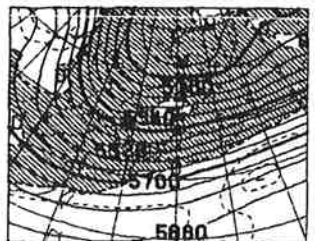
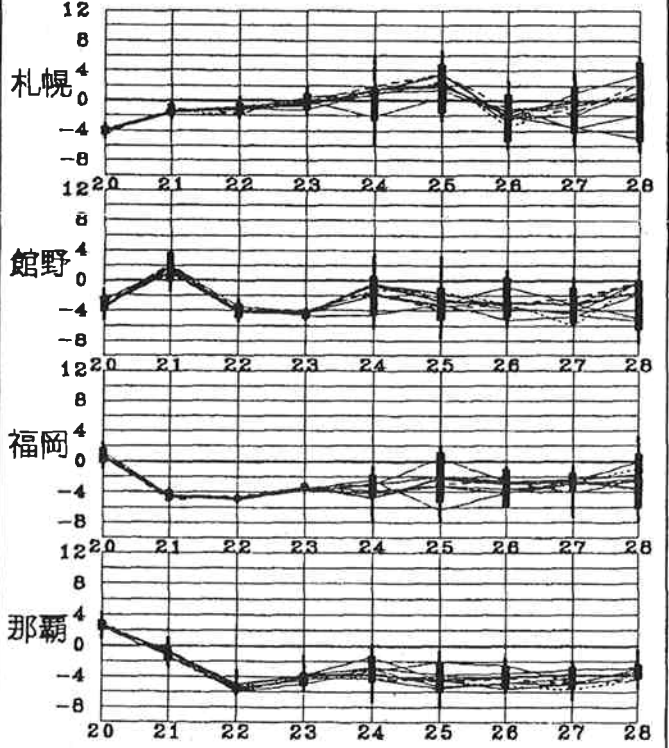
850hPa相当温位 ②



500hPa特定高度線, 降水量予想頻度分布 (%) 及びブレッド ③



④ 850hPaにおける気温偏差予想 (クラスター平均)
縦太線は80%, 縦細線は全メンバーの範囲



サンプル図 2

FEFE19 201200UTC DEC 2001

JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY TOKYO

これはテストです。

